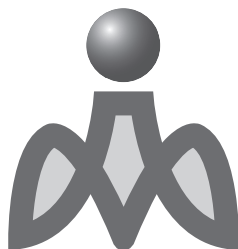


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔平成23年4月～6月実績〕  
〔平成23年7月～9月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

|                     |    |
|---------------------|----|
| I 調 査 要 領 .....     | 1  |
| II 景 況              |    |
| 1. 産業全体の業況概観 .....  | 2  |
| 2. 製造業の動向           |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 3  |
| (2) 主な項目でみる業況 ..... | 3  |
| 3. 建設業の動向           |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 6  |
| (2) 主な項目でみる業況 ..... | 6  |
| 4. 小売業の動向           |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 9  |
| (2) 主な項目でみる業況 ..... | 9  |
| 5. サービス業の動向         |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 12 |
| (2) 主な項目でみる業況 ..... | 12 |



## 【Ⅰ】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

- (1) 対 象 地 区                    1 1 商工会  
 (2) 対 象 企 業 数                1 6 5 企業  
 (3) 回 答 企 業 数                1 6 5 企業

### 2. 調査対象期間

第 1 四半期            平成 23 年 4 月～ 6 月期  
 調 査 時 点            平成 23 年 6 月 1 日

### 3. 調 査 方 法

県下の調査対象企業を 1 1 商工会の経営指導員が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

| 商工会名    | 製 造 業 | 建 設 業 | 小 売 業 | サービス業 | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 都 留 市   | 3     | 2     | 4     | 6     | 1 5   |
| 韭 崎 市   | 3     | 3     | 4     | 5     | 1 5   |
| 南アルプス市  | 3     | 2     | 4     | 6     | 1 5   |
| 北 杜 市   | 4     | 2     | 5     | 4     | 1 5   |
| 笛 吹 市   | 3     | 2     | 4     | 6     | 1 5   |
| 上 野 原 市 | 3     | 3     | 4     | 5     | 1 5   |
| 甲 州 市   | 3     | 3     | 4     | 5     | 1 5   |
| 中 央 市   | 4     | 2     | 6     | 3     | 1 5   |
| 身 延 町   | 4     | 2     | 5     | 4     | 1 5   |
| 富 士 川 町 | 3     | 2     | 4     | 6     | 1 5   |
| 河 口 湖   | 4     | 2     | 6     | 3     | 1 5   |
| 計       | 3 7   | 2 5   | 5 0   | 5 3   | 1 6 5 |

### 5. そ の 他

①本報告書の D I とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

②次頁【Ⅱ】 1. 産業全体の業況概観・・・については、本県商工会地区の企業ばかりでなく本県全体の被調査企業（卸売業を含む） 2 7 8 サンプルによるものである。

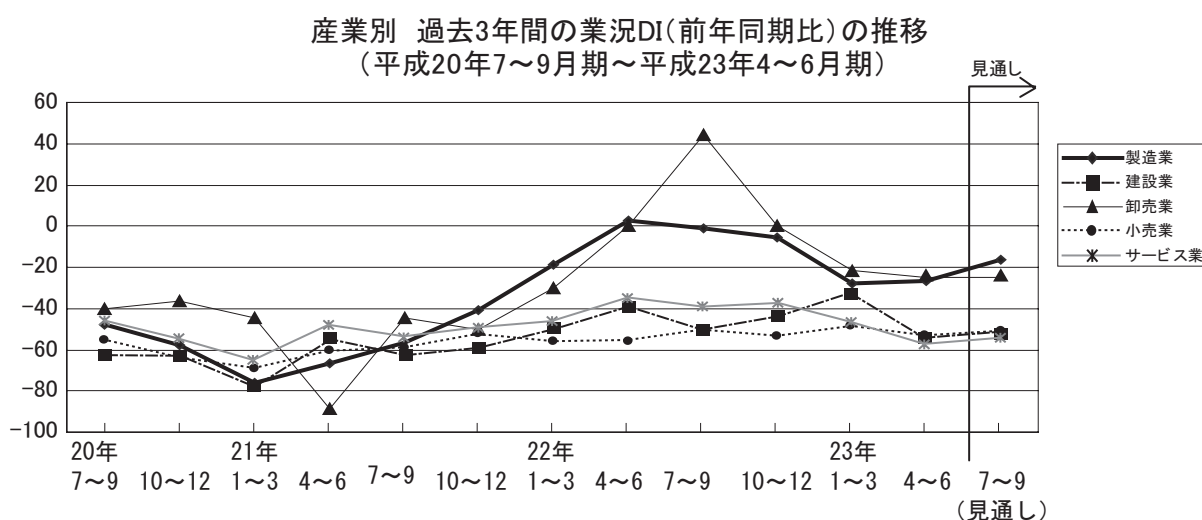
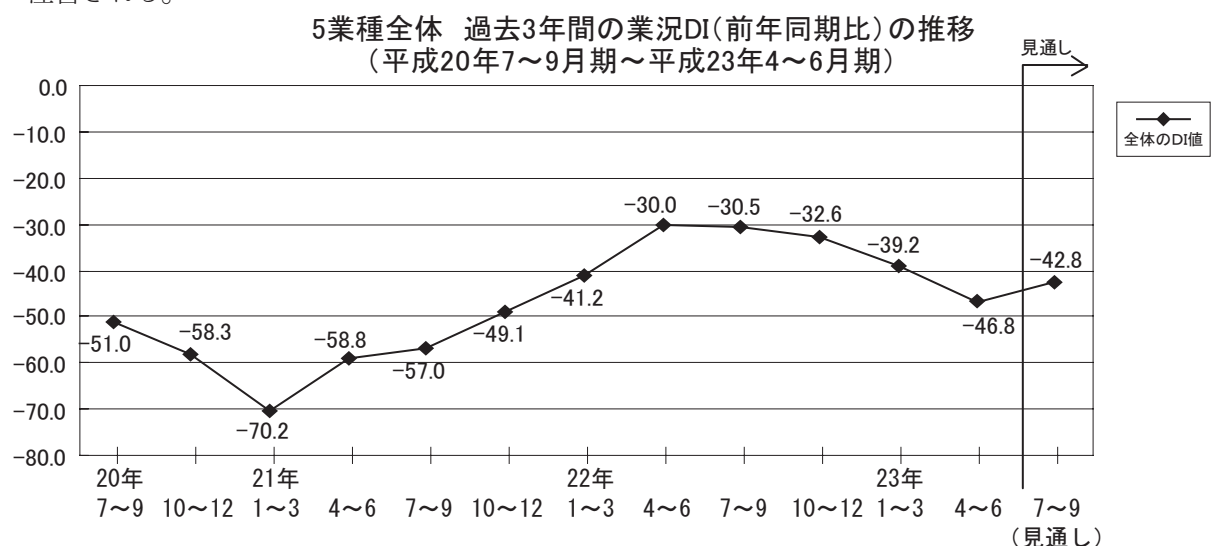
## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県5業種の業況概観について、調査対象278企業のデータに基づいて産業別の業況DIを示す。まず下記の上図は、5業種全体の業況判断DIを表したものである。業況DIは前期マイナス39.2であったが、今期は7.6ポイント悪化してマイナス46.8であった。これで5期連続の悪化であるが、3月の大震災の影響が経済活動全般に影響を及ぼしている。来季の見通しは、若干の回復期待のマイナス42.8である。

そして、下図は景況感を前年同期と比較して、過去3年間の推移を本県製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業5業種別に示したものである。前期と同様に卸売業が5業種の中で最もよいのであるが、前期マイナス22.2から2.8ポイント落ちてマイナス25.0であった。次いで製造業が、前期マイナス28.0から僅かな回復のマイナス26.8であった。その他三業種は、すべてマイナス50を超えた。建設業は、前期マイナス32.5から大きく悪化しマイナス54.1であった。小売業は、前期マイナス48.1から5ポイントほどの悪化でマイナス53.3であった。最後にサービス業であるが、前期マイナス46.8から10.6ポイント悪化のマイナス57.4となった。今期は、製造業以外の業種は厳しい内容であった。

5業種の来季の見通しは卸売業が今期と変わらないが、その他4業種は回復傾向にある。建設業、小売業、サービス業は小規模の回復であるが、製造業は10ポイント超の回復期待でマイナス16.4と注目される。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に中小企業基盤整備機構調査による113企業を含めた278サンプルを使用しております。

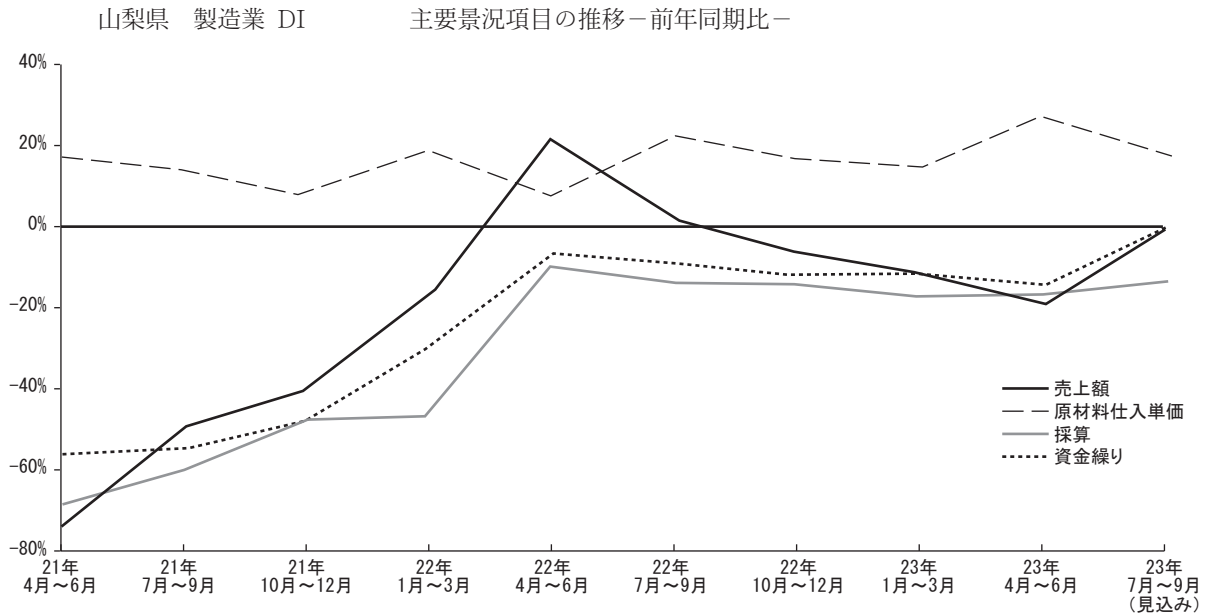
次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

## 2. 製造業の動向

### 1. 景況概観

下図は、製造業の過去2年間の「売上額」「原材料仕入単価」「採算」「資金繰り」の推移状況を表わしたものである。今期の売上額D Iについては、前期マイナス10.9から約8ポイント低下してマイナス19.0であった。来期の見通しD Iは、0.0と回復期待が高い。

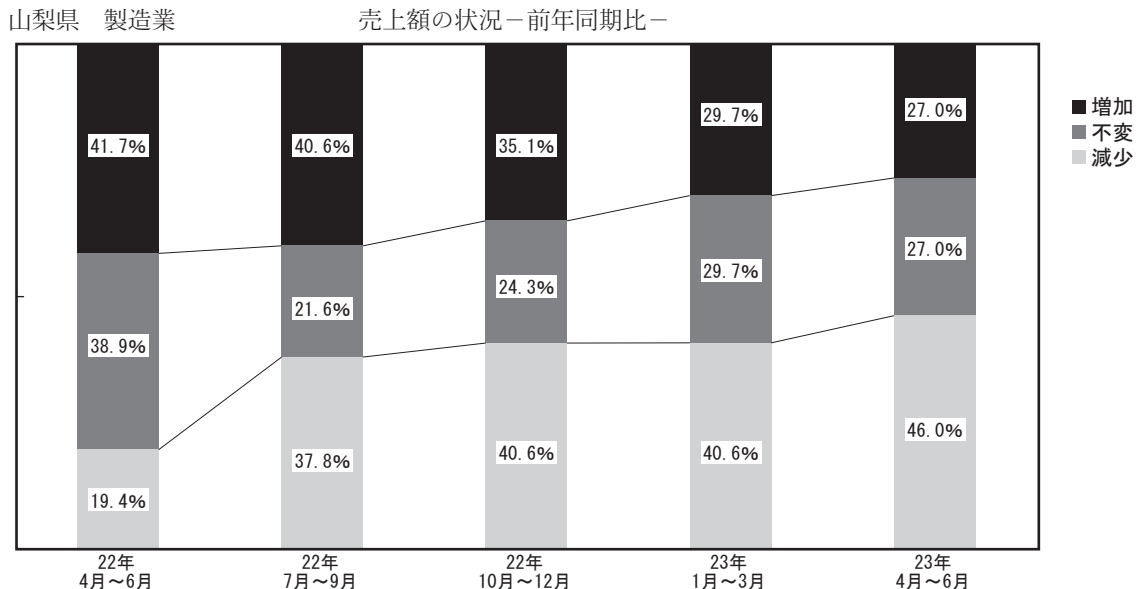
原料仕入単価D Iは、前期15.2から約13ポイント上昇し28.1となった。来期の見通しについては、18.8と10ポイント近く低下する。採算D Iは、前期マイナス16.7とほとんど変わらずのマイナス16.2であった。来期の見通しについては、いくらかの改善傾向のマイナス13.5である。資金繰りD Iは、前期マイナス11.7から少々悪化のマイナス13.9であった。来期の見通しD Iは、前期における回答と同じ0.0である。



### 2. 主な項目で見る業況

#### (1) 売上額

下図は、過去1年間の「売上額」の前年同期比で見た増減状況の推移を示したものである。ここでは、前記した当期の売上額D I マイナス19.0となった回答の中身を見てみよう。「増加」と答えた企業の割合は前期11社の29.7%から1社減り27.0%であった。「不変」についてのD Iの変化は、「増加」と全く同様であった。よって、「減少」は「増加」と「不変」が前期より減ったため、40.6%から46.0%に増えた。今期は「増加」と「不変」企業が1ずつ減って、その分が「減少」に移りD Iが悪化したのである。

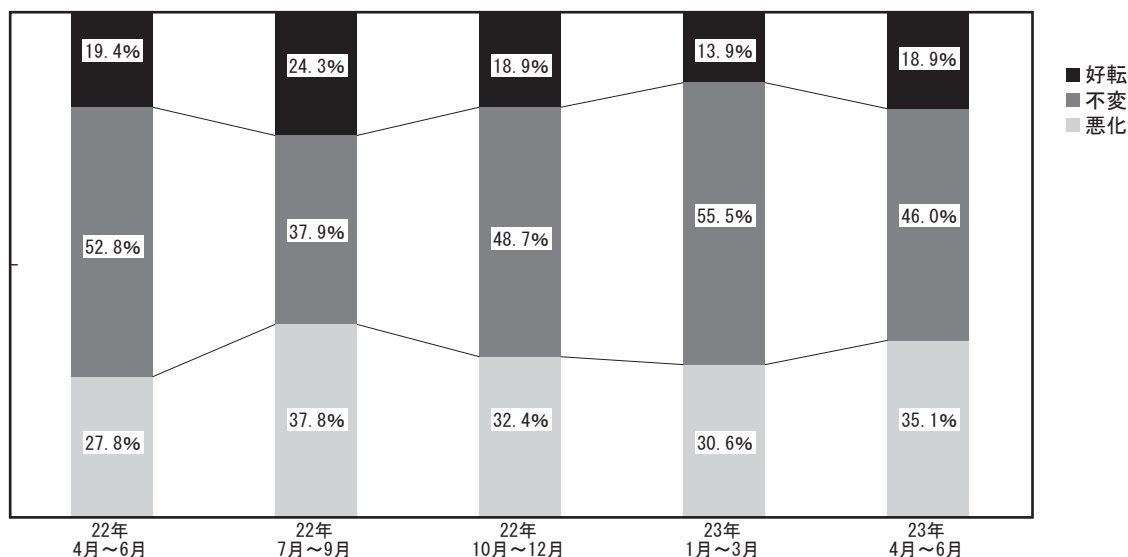


## (2) 採 算

本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。今期の採算D I マイナス16.2についても、その詳細を見てみよう。「好転」が前期5社の13.9%から2社増えて18.9%、「不変」は前期20社の55.5%から3社減って46.0%、「悪化」は前期11社の30.6%から2社増えて35.1%となった。よって、D I は変化しなかったのである。

山梨県 製造業

採算の状況－前年同期比－

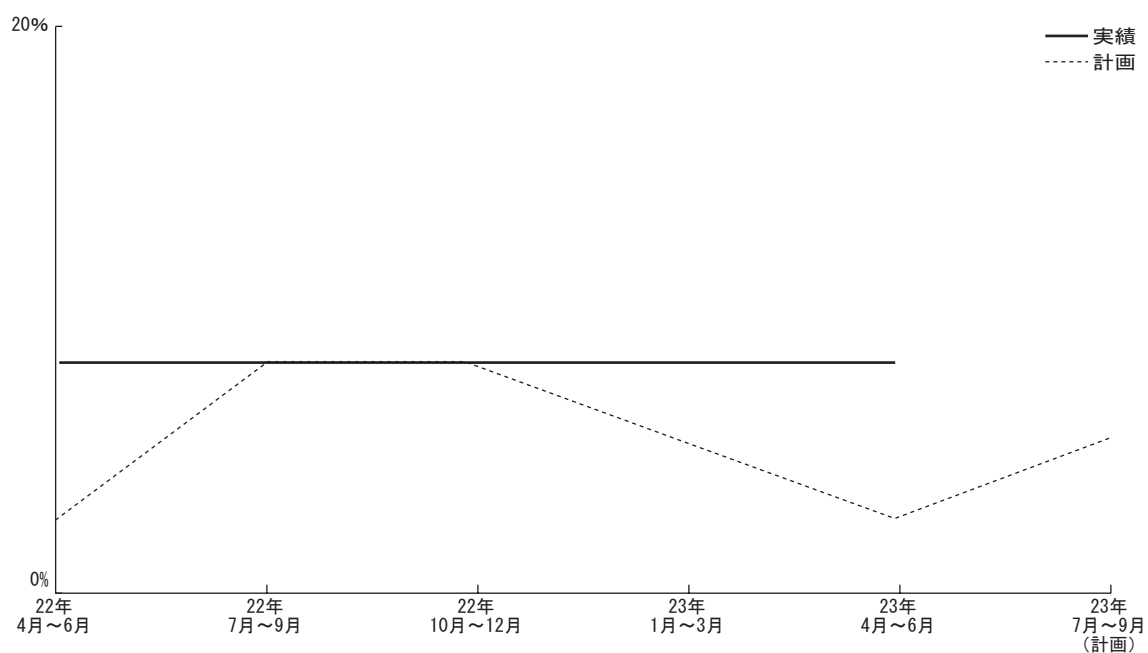


## (3) 設備投資

下図は、過去1年間余りの「設備投資」の状況を示したものである。この間、実績の方が計画を上回って推移してきている。設備投資した企業は、5期続けての3社であった。その内容は、「工場建物」と「OA機器」が各1件、「生産設備」が2件であった。来期において計画を予定している企業は2社である。今期と同様に大型投資と思われる「工場建物」が1件、「生産設備」が1件である。

山梨県 製造業

設備投資の状況





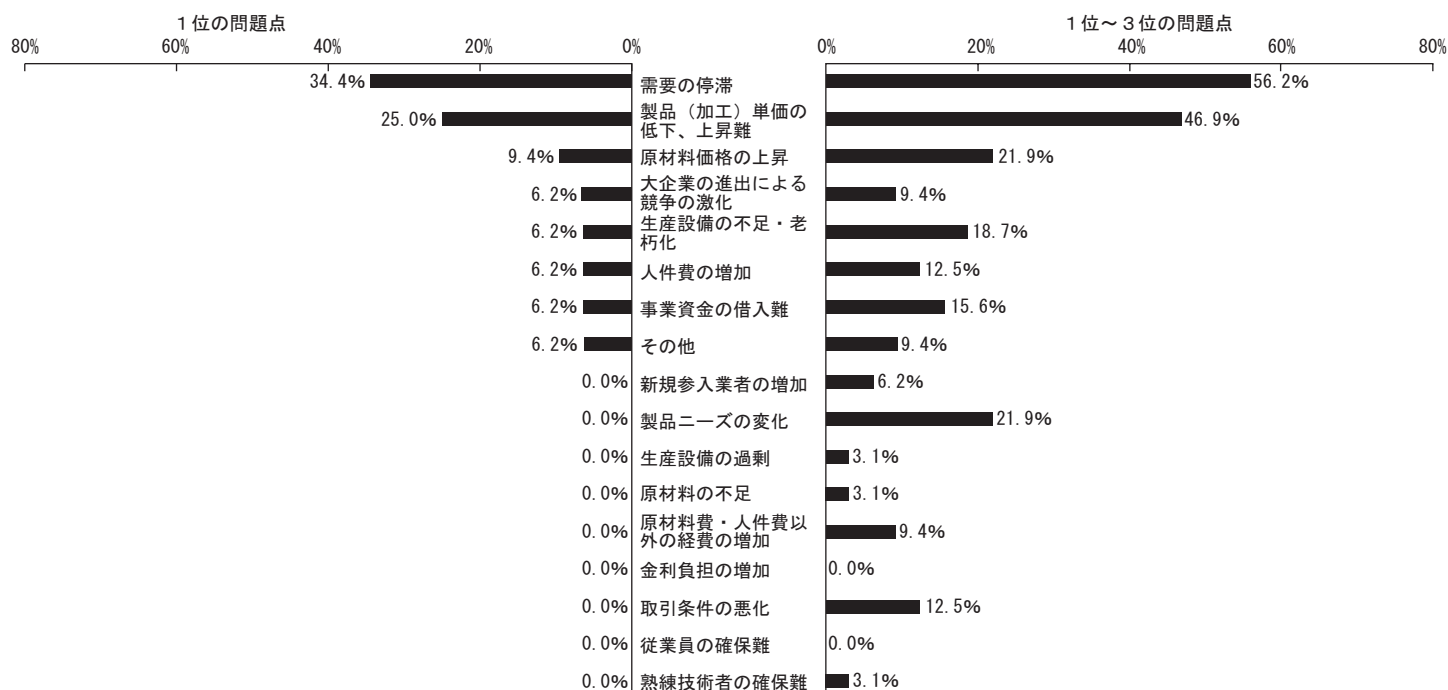
#### (4) 経営上の問題点

製造業における「経営上の問題点」は、下図のとおりである。まず最優先事項の問題点である「一位」に挙げたものから見ていくと、「需要の停滞」が相変わらずトップで前期8社の25.0%から11社に増え34.4%であった。2番目に多かったのは、「製品(加工)単価の低下、上昇難」で前期7社の21.9%から1社増加の25.0%である。続いて、「原材料価格の上昇」が3社、その他2社が答えたものが5件であった。上位2つの答えが圧倒的に多い。

次に「一～三位」を見ると最も多い答えは、やはり「需要の停滞」が前期より1社の増加で56.2%であった。「製品(加工)単価の低下、上昇難」も、前期より2社減ったが過半数に近い46.9%であった。こちらも上位2つの答えが断トツである。続いて、「製品ニーズの変化」と「原材料価格の上昇」がともに7社21.9%、「生産設備の不足・老朽化」が6社の18.7%であった。その他の回答は5社以下が挙げるに止まった。

山梨県 製造業

経営上の問題点の状況（一位と一位～三位）



#### (5) 回答企業の内訳

業種別

| 業 種         | 企業数 | 構成比(%) |
|-------------|-----|--------|
| 食料品製造業      | 8   | 21.6   |
| 印刷・同関連業     | 3   | 8.1    |
| 化学工業        | 1   | 2.7    |
| プラスチック製品製造業 | 5   | 13.5   |
| 窯業・土石製品製造業  | 2   | 5.4    |
| 金属製品製造業     | 1   | 2.7    |
| 一般機械器具製造業   | 8   | 21.6   |
| 電気機械器具製造業   | 1   | 2.7    |
| 輸送用機械器具製造業  | 3   | 8.1    |
| その他製造業      | 5   | 13.5   |
| 合 計         | 37  | 100.0  |

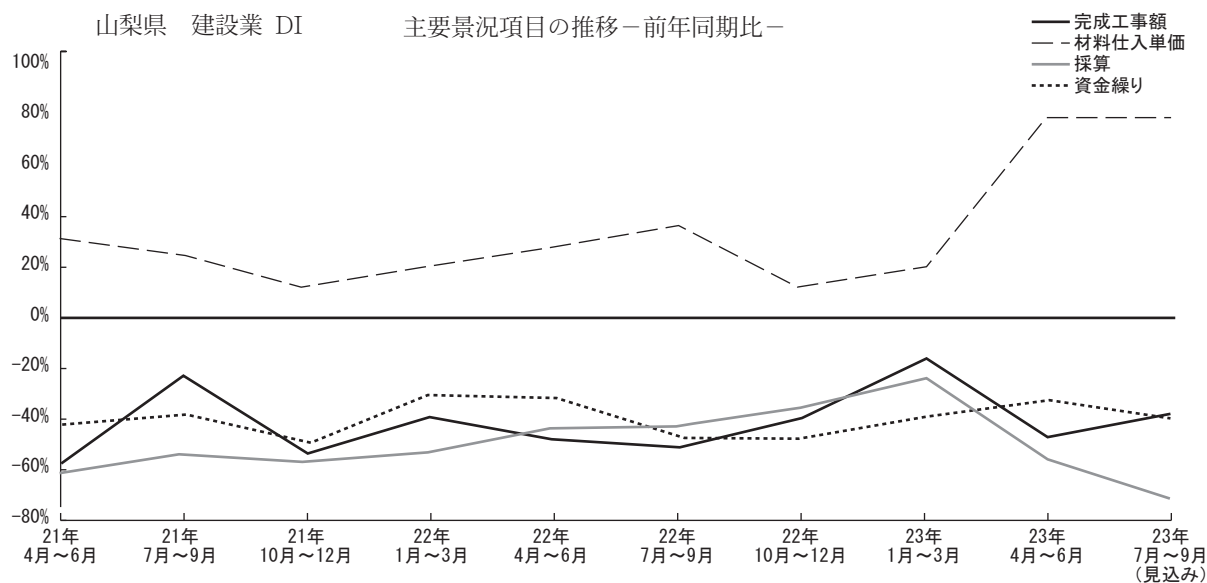
従業員規模別

| 従業員数 \ 雇用形態 | 常 雇 い |        | 臨時等含む |        |
|-------------|-------|--------|-------|--------|
|             | 企業数   | 構成比(%) | 企業数   | 構成比(%) |
| 2人以下        | 17    | 45.9   | 12    | 32.4   |
| 3人～5人以下     | 9     | 24.3   | 10    | 27.0   |
| 6人～10人以下    | 5     | 13.5   | 7     | 18.9   |
| 11人～20人以下   | 2     | 5.4    | 2     | 5.4    |
| 21人～50人以下   | 4     | 10.8   | 6     | 16.2   |
| 合 計         | 37    | 100.0  | 37    | 100.0  |

### 3. 建設業の動向

#### 1. 景況概観

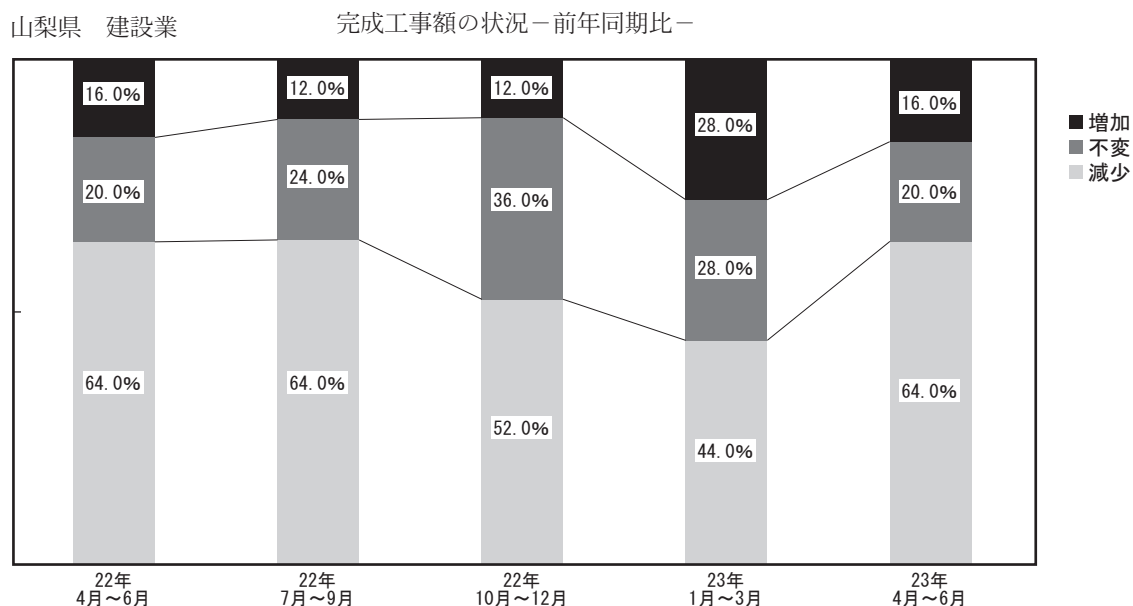
完成工事額D Iは、前期マイナス16.0と大幅な回復をみせたが、今期は再びマイナス48.0と逆戻りしてしまった。来期の見通しについては、10ポイントほどの回復でマイナス37.5である。材料仕入単価D Iは、前期20.0から大きく上昇し80.0となった。これは、東日本の大震災の影響によるものと思われ、ほとんどのサンプル企業が資材等の値上がりを感じているようだ。来期の見通しについても、全く同じ答えであり、当地での復旧・復興の投資の影響を予測している結果といえる。採算D Iについても、前期マイナス24.0から、マイナス56.0へと大きく低下した。来期の見通しについては、さらに悪化しマイナス72.0である。「完成工事額D I」以上に「材料仕入単価D I」の影響を感じさせる結果である。資金繰りD Iは、前期マイナス40.0からマイナス32.0と今期唯一好転した。来期の見通しは、再び前期並みのマイナス40.0である。何れにしても、建設業にとって公共工事の減少といった構造的な問題とともに、大震災の影響が懸念される。



#### 2. 主な項目で見る業況

##### (1) 完成工事額

過去1年余の「完成工事額」の状況の推移を表わしたものが下図である。今期完成工事額D I マイナス48.0の内訳をみると、「増加」が前期7社の28.0%から4社に減り16.0%に、「不変」は「増加」と同じく前期7社の28.0%から5社の20.0%へ、「減少」は前期11社の44.0%から5社増えて64.0%であった。ちなみに、今期の受注(新規契約工事)額についてみると、前期マイナス20.0からマイナス52.0と厳しい状況である。来期見通しについても、マイナス56.0で依然として暗い。

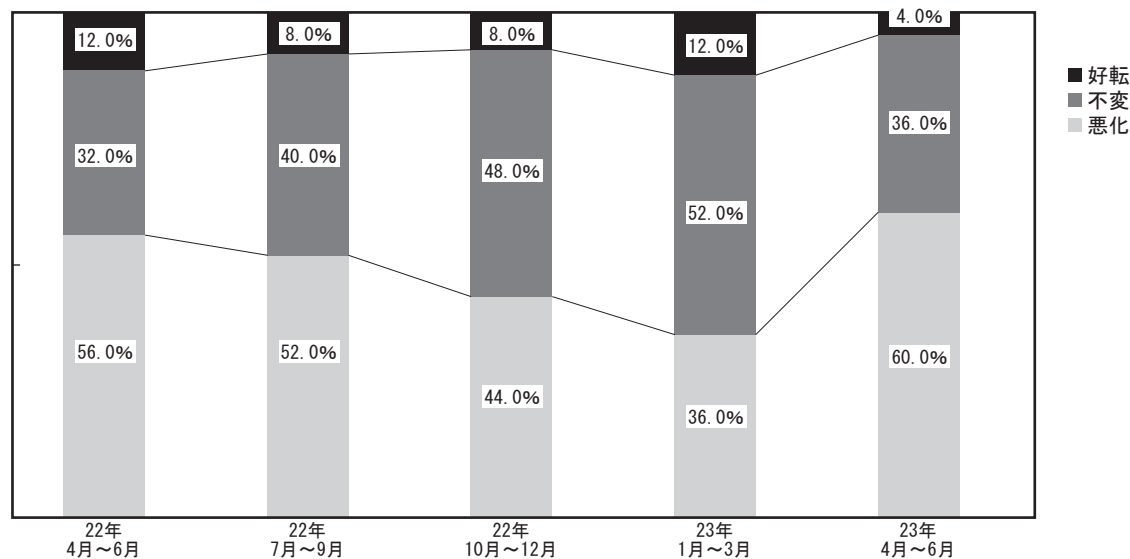


## (2) 採 算

「採算」状況の詳細を見ると下図のようになる。今期採算D I マイナス56.0の内訳は、「好転」が前期3社の12.0%から1社のみになり4.0%、「不変」は13社の52.0%から9社に減り36.0%、「悪化」は前期9社の36.0%から15社に増加して60.0%となった。今期D I の低下は、「悪化」企業が大きく増加したことが要因である。

山梨県 建設業

採算の状況－前年同期比－

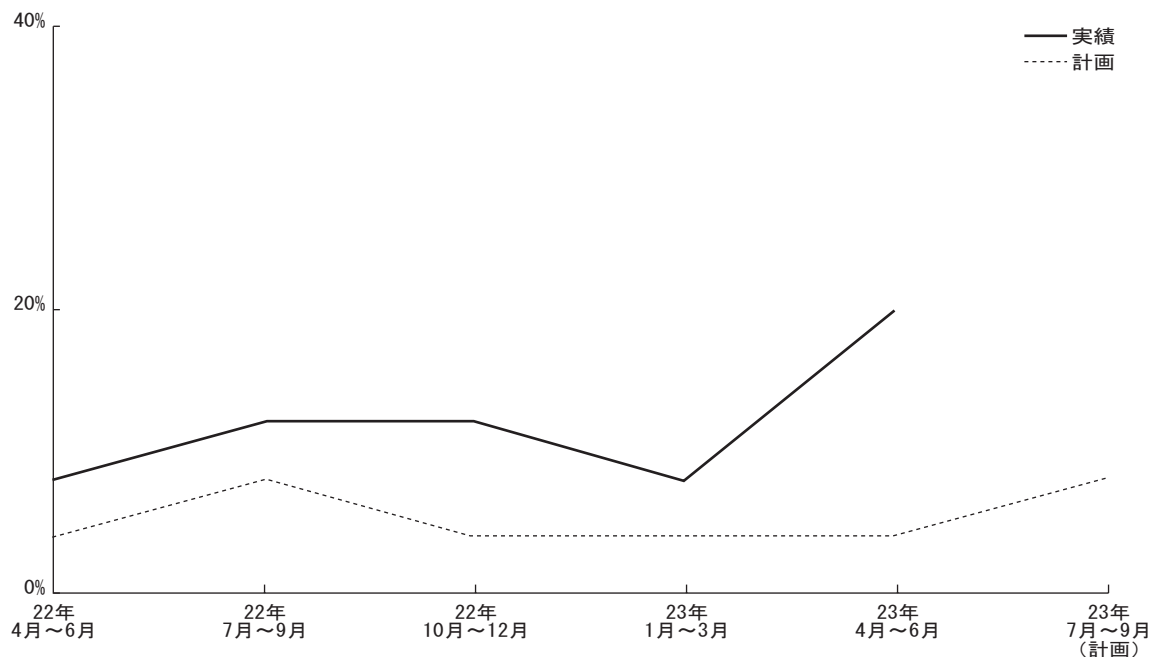


## (3) 設備投資

設備投資を実施した企業は、前期2社から5社に増えた。その内訳は「土地」と「建設機械」が2件ずつ、「車両運搬具」と「O A 機器」が各1件であった。今期は、比較的大型の投資が実施されたようだ。来期の計画は2社に減る見込みである。「O A 機器」の2件である。

山梨県 建設業

設備投資の状況

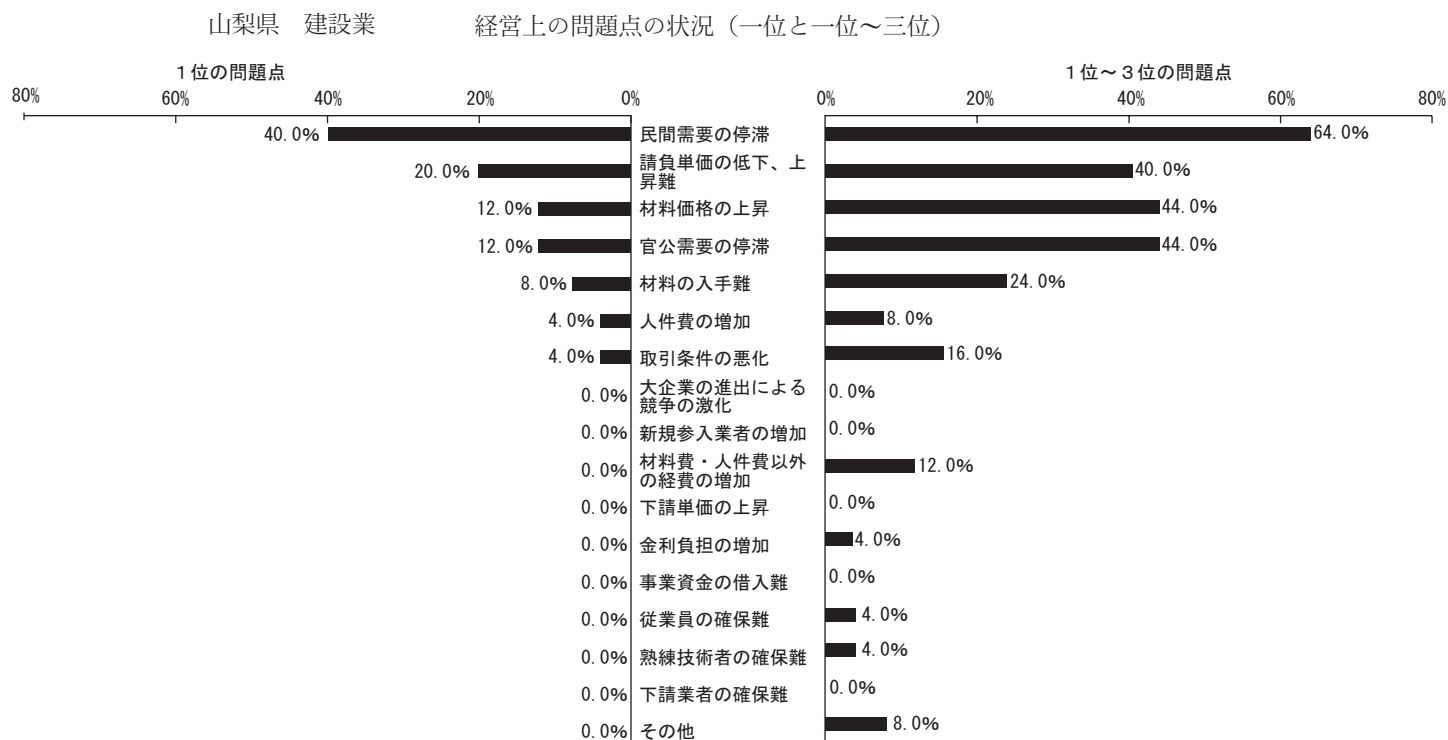


#### (4) 経営上の問題点

まず、「一位」に挙げたものから見ていくと、最も多いのが相変わらず「民間需要の停滞」で前期8社から10社に増えて40.0%である。続いて、これも前期と変わらず「請負単価の低下、上昇難」で5社の20.0%である。さらに「材料価格の上昇」と「官公需要の停滞」が3社ずつの12.0%と続く。

「次に「一～三位」を見ると、トップが「民間需要の停滞」で前期と同じく16社の64.0%である。二番目は「材料価格の上昇」と「官公需要の停滞」で11社が答え44.0%であった。続いて「請負単価の低下、上昇難」で10社の40.0%であった。その他の答えは、「材料の入手難」が6社24.0%と続いている。

今期の特徴として、この「材料の入手難」が経営上の問題点として、ここ3年間に於いて初めて登場した。「材料入手難」の問題は、前記した仕入材料単価D I や採算D I の悪化と連動したものであると思われる。



#### (5) 回答企業の内訳

##### 業種別

| 業 種   | 企業数 | 構成比(%) |
|-------|-----|--------|
| 総合工事業 | 17  | 68.0   |
| 職別工事業 | 5   | 20.0   |
| 設備工事業 | 3   | 12.0   |
| 合 計   | 25  | 100.0  |

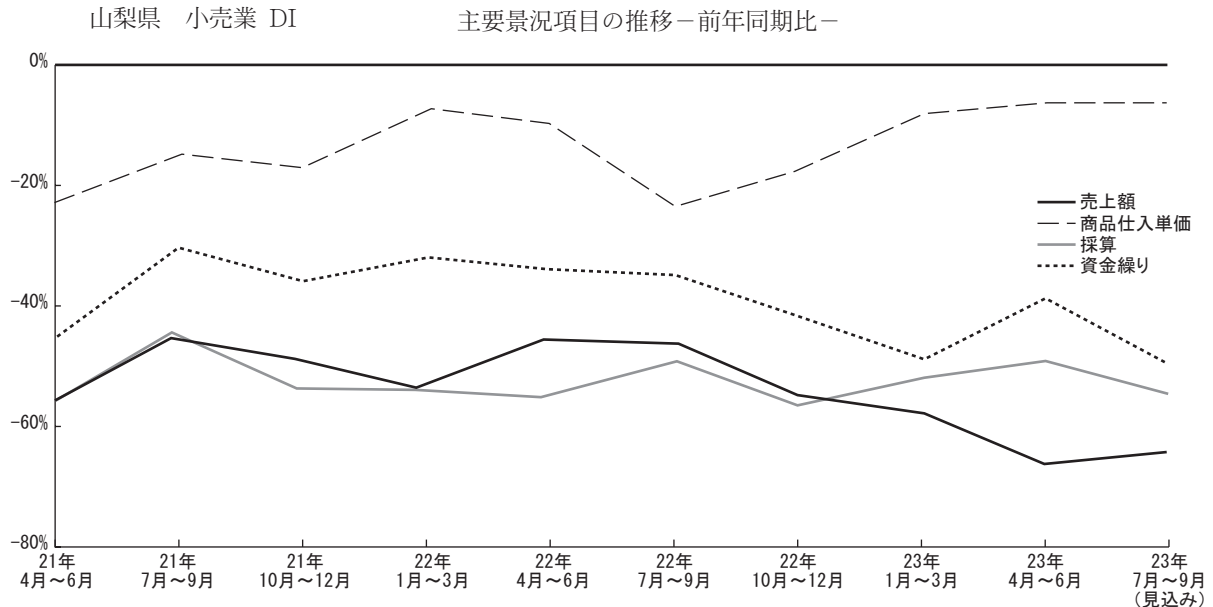
##### 従業員規模別

| 従業員数        | 雇 用 形 態 |       | 臨時等含む |        |
|-------------|---------|-------|-------|--------|
|             | 常 雇     | い     | 企業数   | 構成比(%) |
| 2 人以下       | 8       | 32.0  | 6     | 24.0   |
| 3 人～5 人以下   | 7       | 28.0  | 7     | 28.0   |
| 6 人～10 人以下  | 3       | 12.0  | 5     | 20.0   |
| 11 人～20 人以下 | 5       | 20.0  | 5     | 20.0   |
| 21 人～50 人以下 | 2       | 8.0   | 2     | 8.0    |
| 合 計         | 25      | 100.0 | 25    | 100.0  |

## 4. 小 売 業 の 動 向

### 1. 景 況 概 観

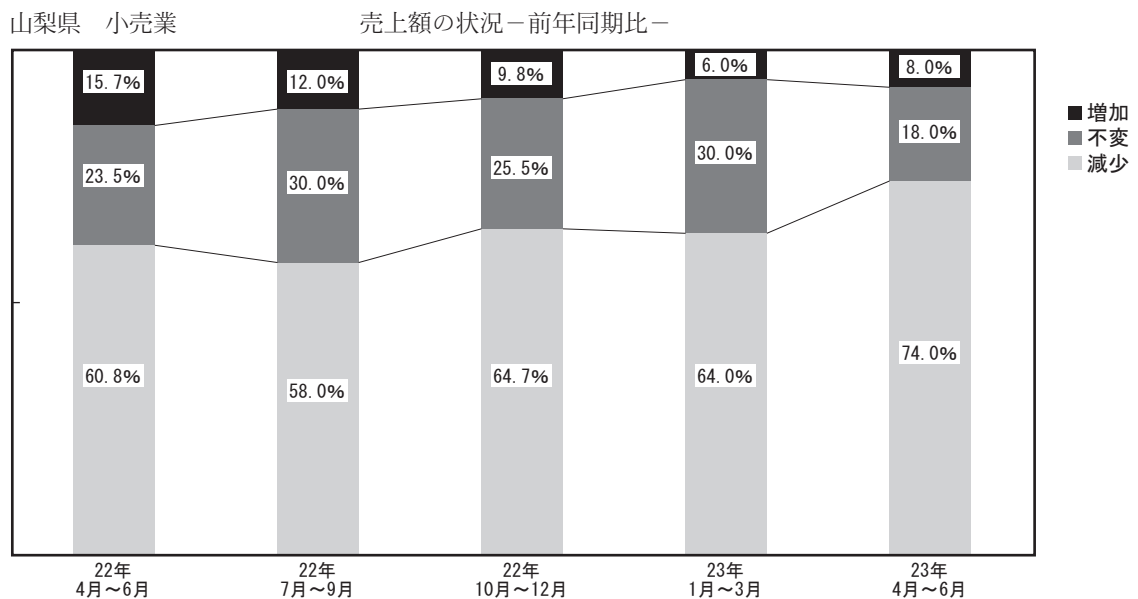
「売上額」D I は、前期マイナス58.0から8ポイント悪化してマイナス66.0である。来期の見通しについては、ほぼ横ばい状況でマイナス64.0である。商品仕入単価D I は、前期マイナス8.0と余り変わらないマイナス6.0となった。来期の見通しは今期と同じD I である。採算D I は、前期マイナス52.0から多少の改善でマイナス48.9である。来期の見通しは、再び悪化してマイナス54.0である。資金繰りD I は、前期マイナス49.0から10ポイントほどの改善でマイナス38.8である。来期の見通しは、マイナス49.0と前期に逆戻りする。



### 2. 主な項目で見る業況

#### (1) 売上額

下図は、ここ1年間余りの「売上額」状況の推移を示したものであるが、今期の売上額D I マイナス66.0の中身を分析してみると次のとおりである。「増加」と答えた企業は、前期3社の6.0%から1社増えて8.0%となった。「不変」企業は、前期15社の30.0%から9社に減り18.0%、「減少」企業は32社の64.0%から5社増えて74.0%であった。今期D I の悪化の原因は、「増加」と「不変」がともに減って「減少」が増えたことによるものである。

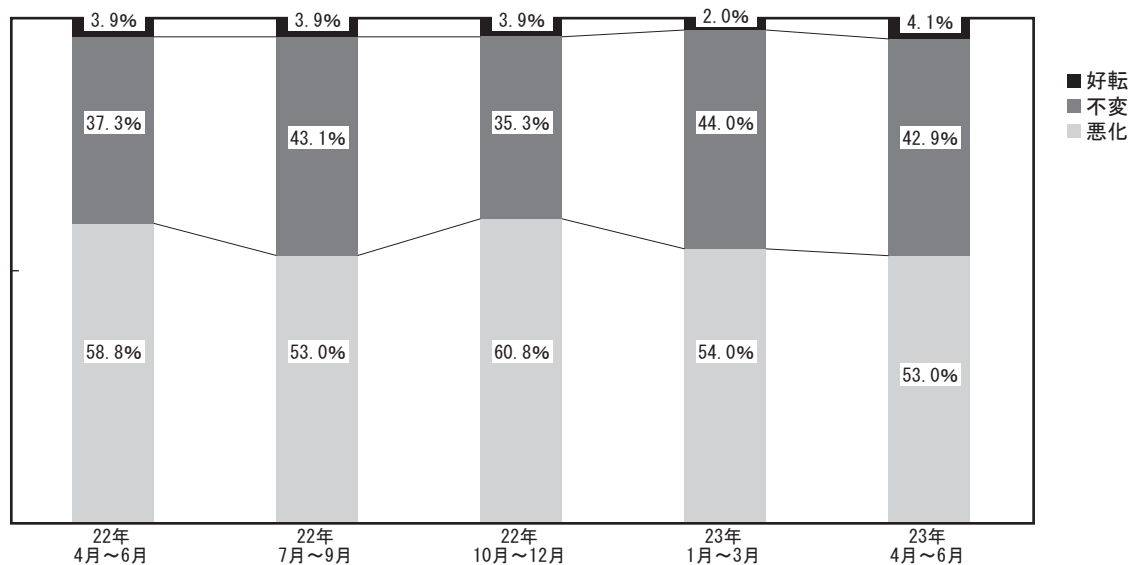


## (2) 採 算

下図も、この1年間余りの「採算」状況の推移を示したものである。今期の採算D I マイナス48.9の内訳をみると、「好転」は前期1社のみの2.0%から2社になり4.1%、「不変」は前期22社の44.0%から1社減って42.9%に、「悪化」は前期27社の54.0%から同じく1社減で53.0%となった。よって、前期よりD I は改善を示したのである。

山梨県 小売業

採算の状況－前年同期比－

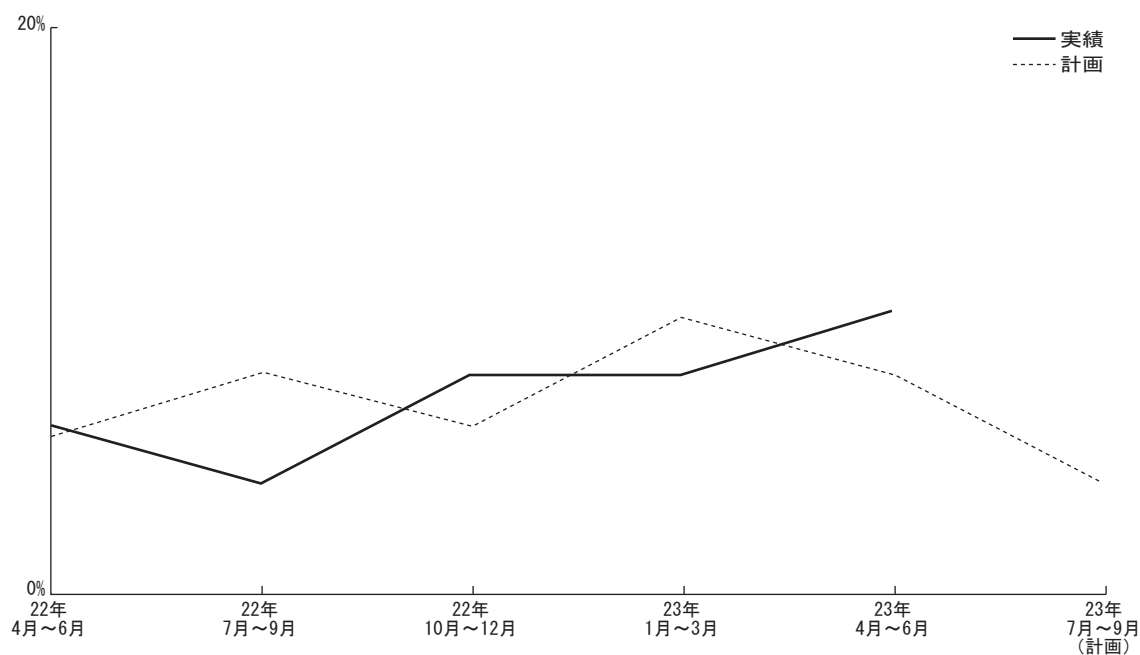


## (3) 設備投資

小売業の今期における「設備投資」状況をみると、前期4社から1社増え5社が実施した。その内容は「店舗」と「O A 機器」が2件ずつ、「車両・運搬具」と「その他」が1件ずつであった。来期に設備投資を計画している企業は2社に減る見通しである。その内訳は「車両運搬具」と「その他」が各1件である。

山梨県 小売業 DI

設備投資の状況

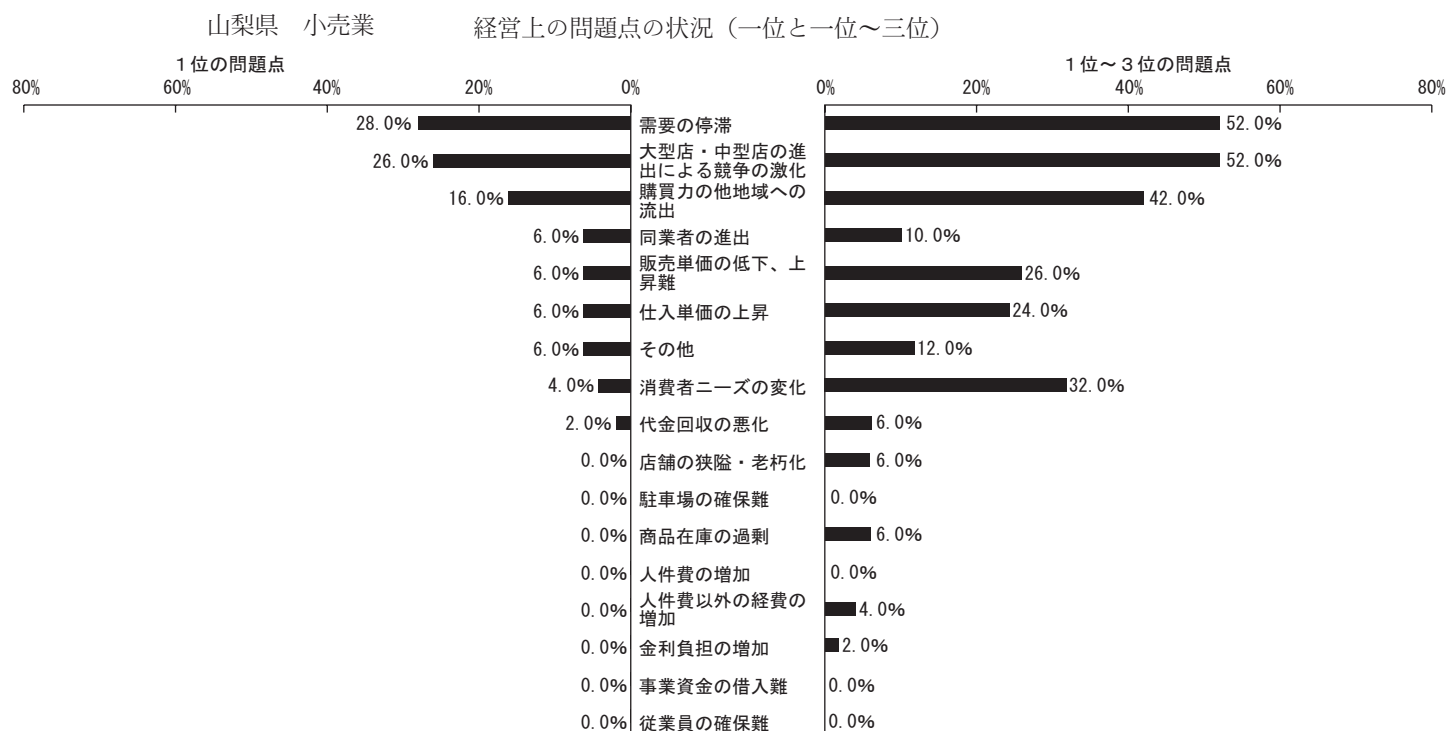


#### (4) 経営上の問題点

「一位」に挙げてもらったものから見ていくと、前期まで「大型店・中型店の進出による競争の激化」が5期続けてトップであったが、今期は「需要の停滞」が1社上回って14社の28.0%であった。2番目は「大型店・中型店の進出による競争の激化」で前期より1社少ない26.0%であった。3番目は、前期と同じで「購買力の他地域への流出」で前期9社より1社減って16.0%であった。これら以外の回答は、3社以下が答えるに止まった。

次に「一～三位」に挙げられた答えをみると、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「需要の停滞」が最も多く26社の52.0%であった。続いて「購買力の他地域への流出」で21社の42.0%であった。ちなみに、同問題点の前期回答は24社の50.0%であった。

続いて、「消費者ニーズの変化」が前期19社の39.6%から16社の32.0%、「販売単価の低下、上昇難」が前期18社の37.5%から13社の26.0%、「仕入単価の上昇」が12社の24.0%と並ぶ。これら以外の回答は6社以下であった。



#### (5) 回答企業の内訳

##### 業種別

| 業 種            | 企業数 | 構成比(%) |
|----------------|-----|--------|
| 織物・衣服・身の回り品小売業 | 11  | 22.0   |
| 飲食品小売業         | 12  | 24.0   |
| 自動車・自転車小売業     | 4   | 8.0    |
| 家具・建具・じゅう器小売業  | 7   | 14.0   |
| その他小売業         | 16  | 32.0   |
| 合 計            | 50  | 100.0  |

##### 売場面積別

| 売 場 面 積      | 企業数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 50㎡未満        | 26  | 52.0   |
| 50㎡～100㎡未満   | 18  | 36.0   |
| 100㎡～200㎡未満  | 4   | 8.0    |
| 200㎡～500㎡未満  | 1   | 2.0    |
| 500㎡～1000㎡未満 | 1   | 2.0    |
| 合 計          | 50  | 100.0  |

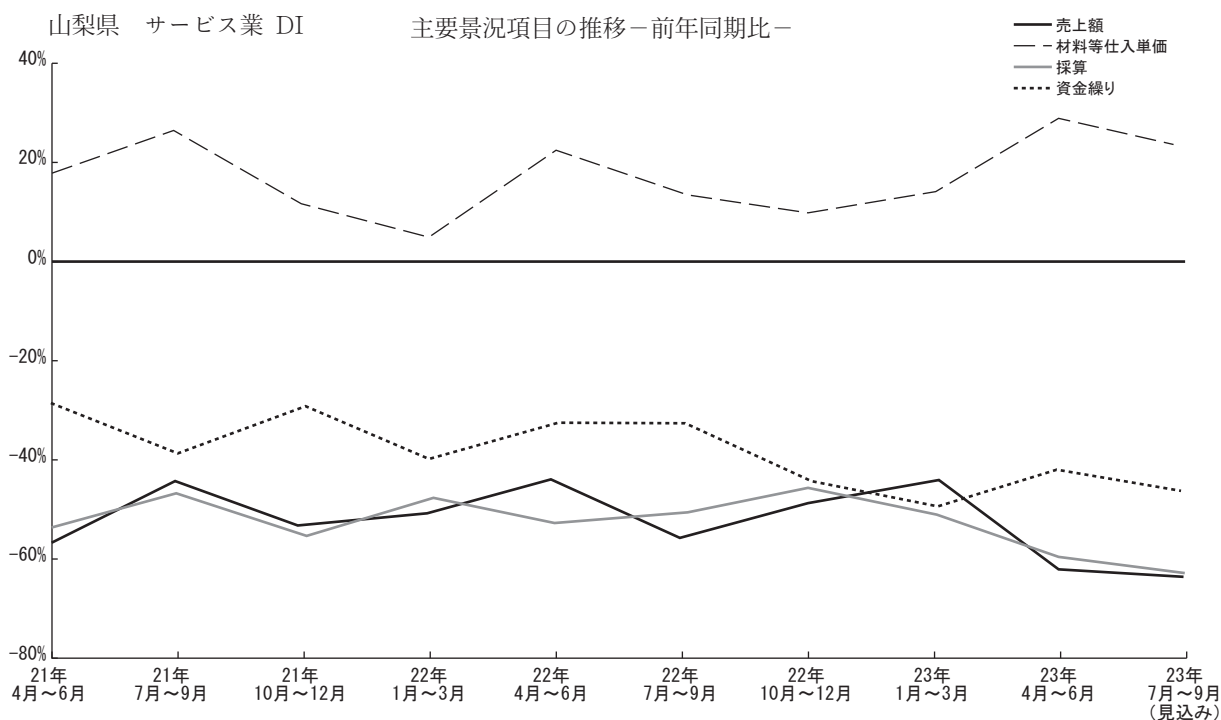
##### 従業員規模別

| 従業員数 \ 雇用形態 | 常 雇 い |        | 臨時等含む |        |
|-------------|-------|--------|-------|--------|
|             | 企業数   | 構成比(%) | 企業数   | 構成比(%) |
| 2人以下        | 43    | 86.0   | 40    | 80.0   |
| 3人～5人以下     | 7     | 14.0   | 8     | 16.0   |
| 6人～10人以下    | 0     | 0.0    | 2     | 4.0    |
| 合 計         | 50    | 100.0  | 50    | 100.0  |

## 5. サービス業の動向

### 1. 景況概観

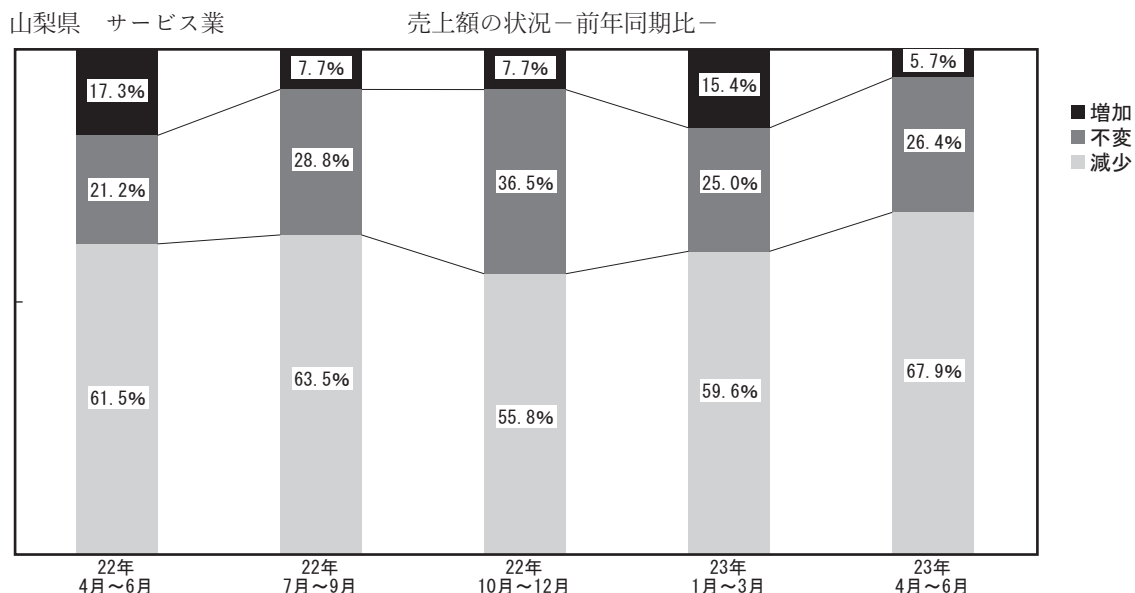
サービス業における売上額D Iは、前期マイナス44.2から18ポイント悪化しマイナス62.2であった。来期の見通しについては、さらに幾らかの悪化でマイナス64.1である。材料等仕入単価D Iは、前期13.7から29.4へと15.7ポイント上昇を見せる。来期の見通しは、少々の改善の23.6である。採算D Iは、前期マイナス51.0からマイナス59.7へ約9ポイント悪化した。来期の見通しについては、一段の悪化予測でマイナス63.5である。資金繰りD Iは、前期マイナス48.9から6.6ポイント改善のマイナス42.3であった。来期の見通しについては、再び多少の悪化のマイナス46.2である。



### 2. 主な項目で見る業況

#### (1) 売上額

この1年間余りの「売上額」の推移状況から、当期売上額D I マイナス62.2の分析をすると「増加」が前期8社の15.4%から3社に減り5.7%、「不変」は前期13社の25.0%から1社増えて26.4%に、「減少」は前期31社の59.5%から5社増えて67.9%となった。今期D Iの悪化の理由は、「増加」企業数が5社減って、その分が「減少」企業に移ったからである。



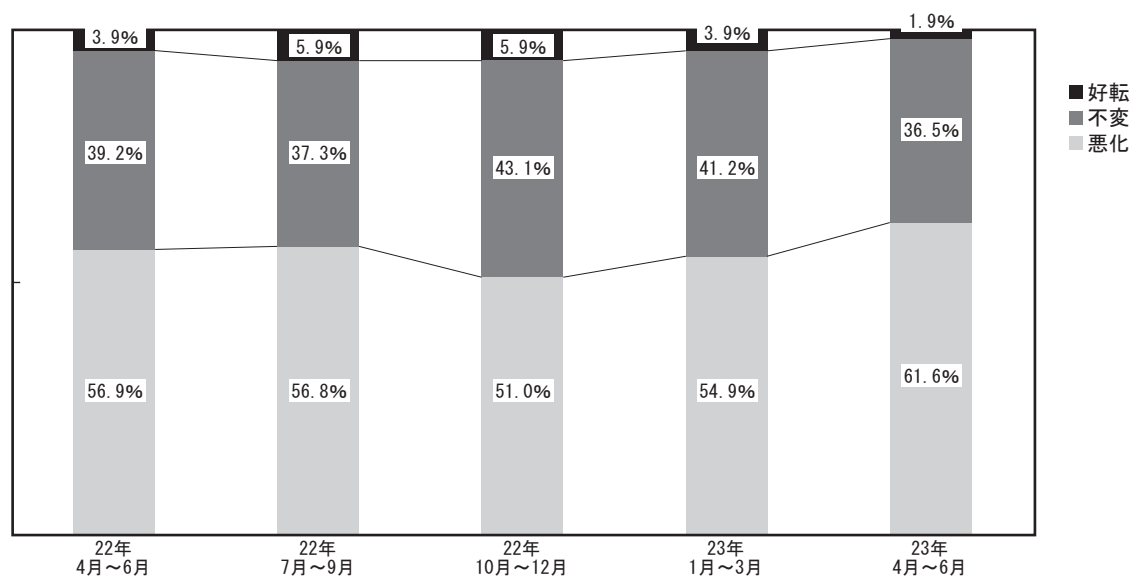


## (2) 採 算

今期採算D I マイナス59.7の内訳は、「好転」が前期2社の3.9%から1社のみの1.9%に、「不変」は前期21社の41.2%から2社減り36.5%に、「悪化」は前期28社の54.9%から4社増えて61.6%になった。採算面では「好転」が減り「悪化」が増えたので、当然の結果としてD I が低下したのである。

山梨県 サービス業

採算の状況－前年同期比－

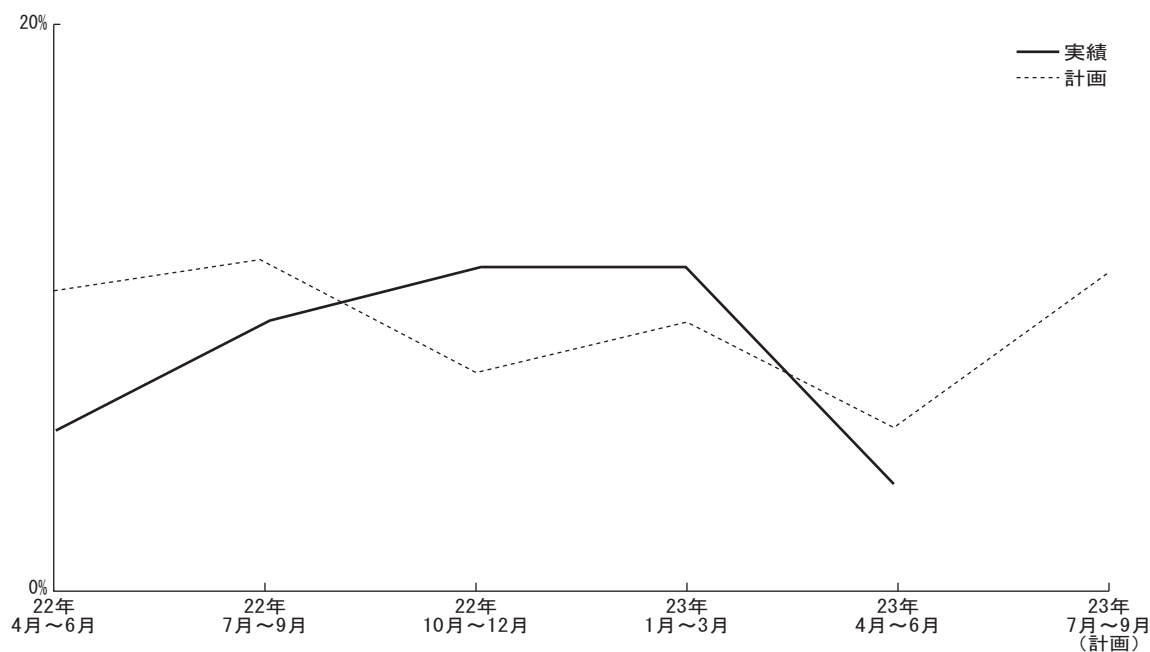


## (3) 設備投資

サービス業で「設備投資」を行った企業は、2期続けて6社の11.5%であったが今期は2社の3.8%であった。その内容は「サービス」と「車両・運搬具」であった。来期の計画については、再び6企業が投資を予定している。「OA機器」が3件、「建物」が2件、「土地」「サービス」「車両・運搬具」「付帯施設」「その他」が各1件である。

山梨県 サービス業

設備投資の状況



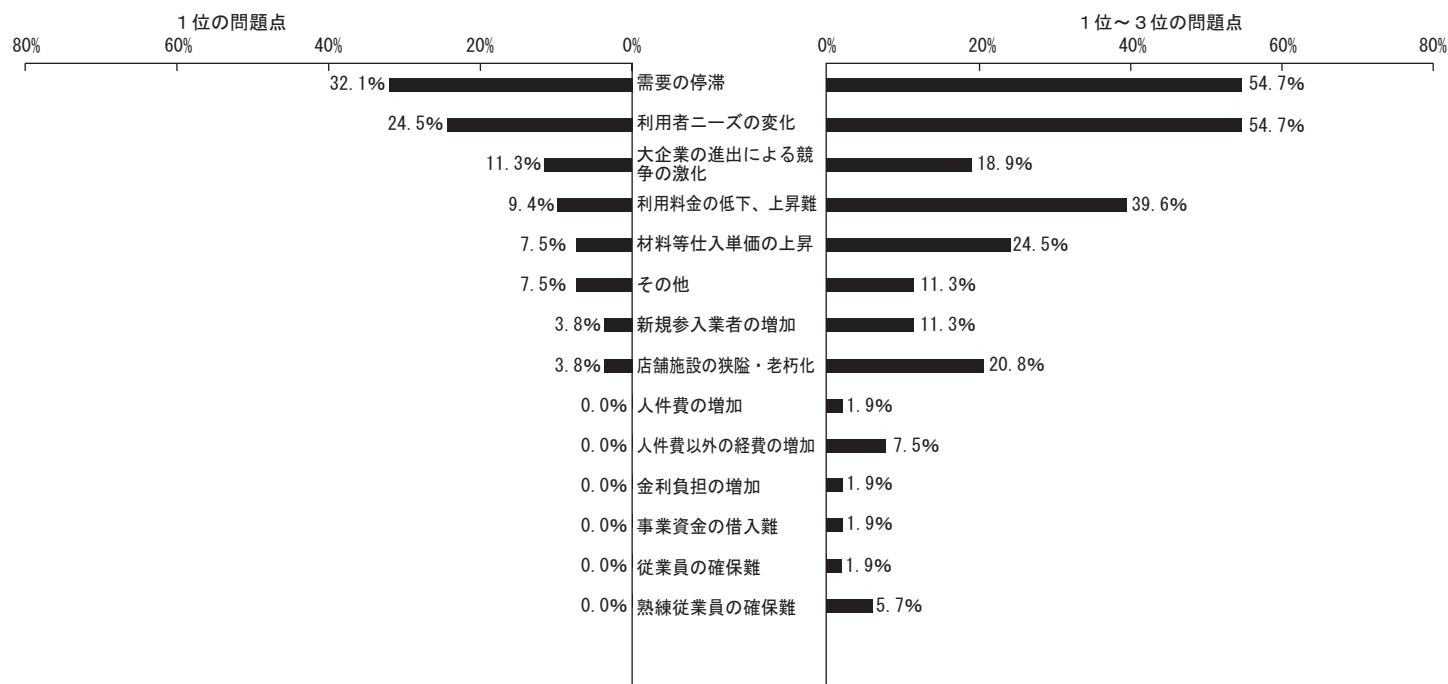
#### (4) 経営上の問題点

サービス業の「経営上の問題点」は、「一位」に挙げた項目の中では前期と同じ「需要の停滞」がトップで、17社と変わらなかった。続いて「利用者ニーズの変化」で、前期11社の21.6%から2社増えて24.5%であった。この2つの回答が群を抜いている。その他に多い問題点は「大企業の進出による競争の激化」が前期9社の17.6%から6社に減り11.3%、「利用料金の低下、上昇難」が前期5社と同じく9.4%であった。

次に、「一～三位」に挙げたものを見ると、「利用者ニーズの変化」と「需要の停滞」が29社の54.7%でトップであった。「利用者ニーズの変化」は前期30社から1社減、「需要の停滞」は前期35社から6社減った。次に多かったのは、「利用料金の低下、上昇難」で前期18社35.3%であったが、3社増えての39.6%であった。この3つの回答が他の回答を圧して多かった。その他「材料等仕入単価の上昇」が13社24.5%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が11社の20.8%、「大企業の進出による競争の激化」が10社の18.9%と続いている。後の回答は6社以下の回答に止まっている。

山梨県 サービス業

経営上の問題点の状況（一位と一位～三位）



#### (5) 回答企業の内訳

業種別

| 業 種       | 企業数 | 構成比(%) |
|-----------|-----|--------|
| 一般飲食店     | 13  | 24.5   |
| 宿泊業       | 8   | 15.1   |
| 自動車整備業    | 5   | 9.4    |
| 洗濯・理美容業   | 20  | 37.7   |
| その他のサービス業 | 7   | 13.2   |
| 合 計       | 53  | 100.0  |

従業員規模別

| 従業員数              | 雇 用 形 態 |       | 臨 時 等 含 む |        |
|-------------------|---------|-------|-----------|--------|
|                   | 常 雇     | い     | 企業数       | 構成比(%) |
| 2 人 以 下           | 42      | 79.2  | 37        | 69.8   |
| 3 人 ～ 5 人 以 下     | 6       | 11.3  | 9         | 17.0   |
| 6 人 ～ 1 0 人 以 下   | 4       | 7.5   | 5         | 9.4    |
| 1 1 人 ～ 2 0 人 以 下 | 1       | 1.9   | 1         | 1.9    |
| 2 1 人 以 上         | 0       | 0.0   | 1         | 1.9    |
| 合 計               | 53      | 100.0 | 53        | 100.0  |